

令和7年度  
多摩市認知症初期集中支援チーム

# 活動報告

---

令和8年2月2日  
多摩市健康福祉部高齢支援課  
多摩市認知症初期集中支援チーム

# 多摩市の状況(令和8年1月1日現在)

	H29. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1	R8.1. 1
総人口(人)	148,511	148,835	148,107	148,241
65歳以上人口(人)	40,429	42,481	43,360	43,616
	27.2%	28.5%	29.4%	29.4%
75歳以上人口(人)	18,103	21,400	24,186	27,000
	12.1%	14.3%	16.3%	18.2%
日常生活自立度がⅡ以上の第1号被保険者数(人) ※調査票でⅡ以上	2,860	3,101	3,192	4,612
認知症有病者数(人)	7.1%	7.3%	7.4%	11%

# 多摩市認知症初期集中支援チームについて

- 平成27年7月1日から社会医療法人河北医療財団多摩事業部へ委託。
- チーム員構成(令和7年度)

職種	人数
専門医(チーム医)	3
認知症看護認定看護師	1
作業療法士	2
公認心理師	1
精神保健福祉士・社会福祉士	1

# 認知症初期集中支援チーム実績

(2026.1.15付)

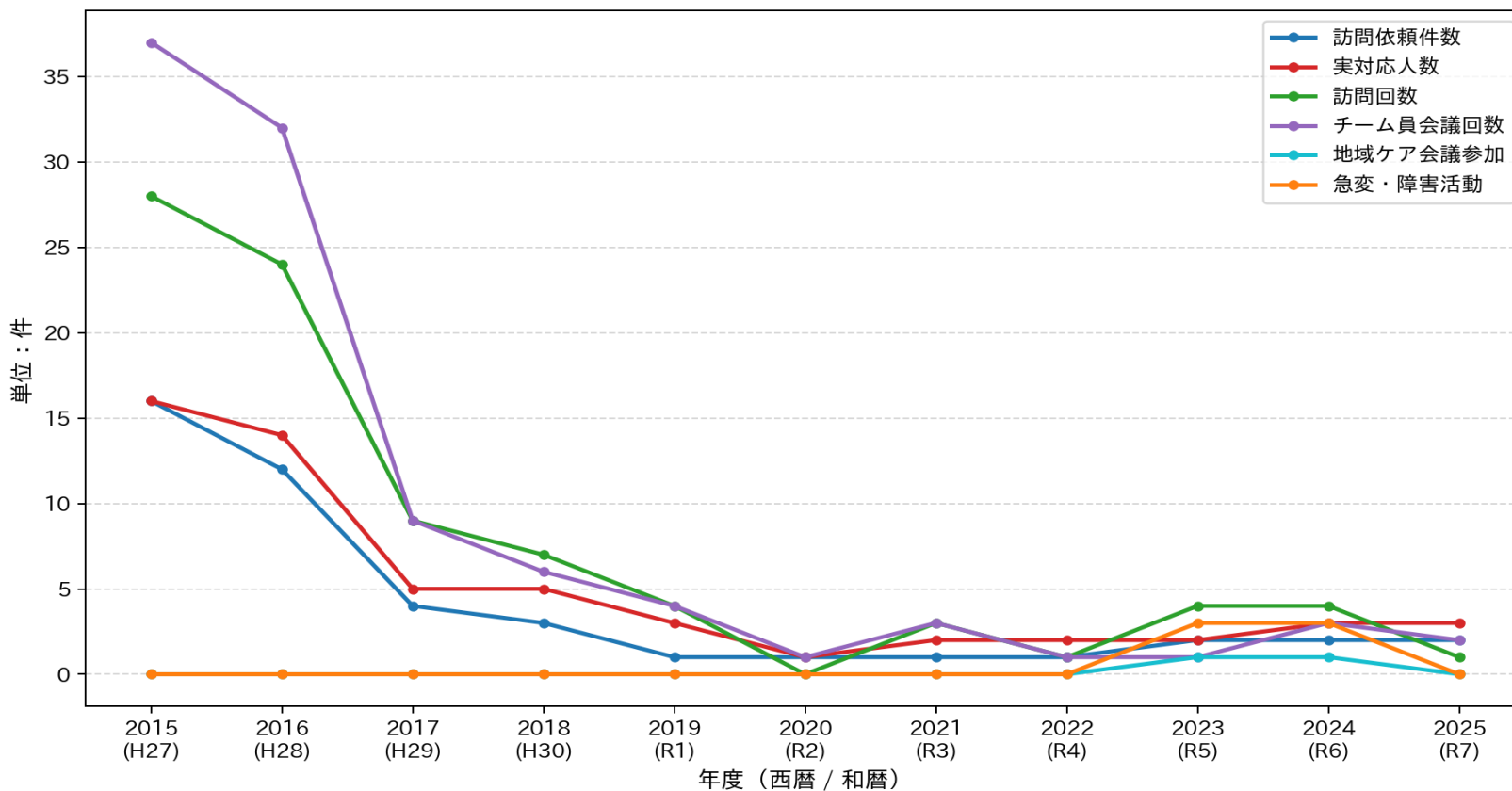
年度	訪問 依頼件数	実対応人数	訪問回数 (延べ数)	チーム員会議 回数(延べ)	地域ケア会議 参加(延べ)	普及・啓発活 動(延べ数)	備考
平成27年度	16	16	28	37			7/1～事業開始
平成28年度	12	14	24	32			
平成29年度	3	5	9	9			
平成30年度	4	5	7	6			
令和元年度	1	3	4	4			
令和2年度	1	1	0	1			
令和3年度	2	2	3	3			
令和4年度	1	2	1	4	3		令和4年度より地域ケア会議アドバイザー参加
令和5年度	2	2	3	1	1		R5年度検討員会議開催後、新規2件(訪問依頼1件、 地域ケア会議1件)受理
令和6年度	2	3	4	3	1	3	
令和7年度	2	2	3	2	1	2	
合計	46	55	86	102	6	3	

※実対応人数(地域ケア会議を除く)

# 認知症初期集中支援チーム実績

(2026.1.15付)

初期集中データ：折れ線グラフ（年度）



※実対応人数(地域ケア会議を除く)

## 活動の流れ

①

☆包括→高齢支援課→チームへ依頼書が届く。

☆包括の担当者とチームで、初回訪問に向けた打合せを実施し、かかりつけ医療機関への情報照会等を検討する。

① 事前打合せ

② 家庭訪問・  
面談等

②

☆初回訪問で生活状況や心身の状況を改めて確認し、アセスメントを行うとともに、相談内容に応じた助言や提案を行う。

☆事前に同意が得られない場合、相談の上、初回訪問時に同意を得る。

☆必要に応じて初回訪問の前に、家族や主治医等を含めた支援関係者のみで事前打ち合わせを実施することがある。

④

☆支援開始時からの状況変化等を確認する中で、地域のサービスや相談担当窓口へ引き継ぎを行い、終了時期を検討する。

☆課題解決が終了とは限らない。支援方針と対応の経過・結果から状況改善・不変・悪化等、一定の評価を共有し、包括とチームの協働支援を主たる支援者へ引き継ぐ。

③ チーム員会議  
・適宜介入

③

☆初回訪問の実施後、チーム員会議を開催。情報共有後、支援方針を検討し、各支援機関の役割分担を確認する。

☆訪問時の緊急性によっては、チーム員会議を待たずに適宜介入となる。訪問及び会議は、状況に応じ、一人1～5回程度。

④ 引継ぎ・終了  
(概ね6カ月程度)

⑤

☆終了から2ヵ月を目途に、チーム員から関係者へ、電話での聞き取り等のモニタリングを実施。終了後も、医療や介護・地域のサービス等が継続しているか、状況を確認する。

☆必要に応じ、チーム訪問・チーム員会議を実施する。チーム介入の必要性がない場合、支援終了となる。

⑤ モニタリ  
ング・終結

# 令和7年度 ケース①

## 1 対象者(依頼時状況)

独居

## 2 介入の経緯

認知症専門医療機関にて診断・投薬治療中であり、要介護認定を受けているが、介護保険サービスの使用なく、金銭管理の困難さが窺われている。①現状の共有、②金銭管理方法の検討、③成年後見制度の検討等を目的として、初期集中支援チームへの依頼となる。

## 3 介入実績

地域ケア会議に参加

## 4 地域ケア会議における検討事項と方針

- ・チーム医より医学的見解を説明。
- ・認知機能低下を補う工夫を検討。
- ・今後の長期的な見通しの共有。

# 令和7年度 ケース②

## 1 対象者(依頼時状況)

家族と同居

## 2 介入の経緯

認知症専門医療機関にて診断・投薬治療中。要介護認定を受け、介護保険サービスを利用している。今後の医療・介護等の幅広い対応方法の相談を目的として、初期集中支援チームへの依頼となる。

## 3 介入実績

事前打ち合わせ

訪問 3回

チーム員会議 2回

## 4 介入後の状況

現在介入中

# 令和7年度 ケース③

## 1 対象者(依頼時状況)

独居

## 2 介入の経緯

身体的疾患により医療機関への通院あったが、現在はかかりつけ医・定期通院はなし。認知症の診断なく、介護保険は未申請。金銭管理等、日常生活の中に困難さが窺われており、認知機能低下が疑われている。①状況把握と医療機関受診の検討、②必要な生活サポートの検討等を目的として、初期集中支援チームへの依頼となる。

## 3 介入実績

訪問予定

## 4 介入後の状況

現在介入中

# 令和7年度 普及・啓発活動①

## 1 テーマ

令和7年度第1回多摩市介護支援専門員部会

『高齢者を地域で支えるためには～認知症高齢者の行方不明を「防ぐ」だけでなく「理解する」ケアへ』

## 2 プログラム

- ・認知症初期集中支援事業の概要と利用の流れ
- ・認知症高齢者の行方不明対策についての講義
- ・グループワーク(行方不明の対応経験の共有、日常業務と関連付けた事前準備)

## 3 開催日時・場所

2025年7月18日(金) 10:30～12:00 多摩市役所 3階会議室

## 4 参加人数

84名

## 5 結果

- ・写真の準備やヘルプカードの活用が参考になったとの声が多かった
- ・認知症高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向けた支援のあり方を考える機会となった

# 令和7年度 普及・啓発活動②

## 1 テーマ

認知症サポーターステップアップ講座

『「認知症」の症状と、その理由を知り、家族として、友人として、仲間として、近所に暮らす人として、私たちができることを学び、考える』

## 2 プログラム

- ・認知症の基礎知識の復習と応用についての講義
- ・認知症当事者の動画視聴により意思決定支援を学ぶ
- ・MCI当事者との対談
- ・グループワーク(動画・対談で印象に残ったことと、私がこれからやっていきたいこと)

## 3 開催日時・場所

2025年10月4日(金) 13:30～15:30 関戸公民館8階大会議室

## 4 参加人数

37名

## 5 結果

- ・従来の認知症サポーター養成講座とは違った角度から学びを深める機会となった
- ・認知症を自分事として考える機会となった

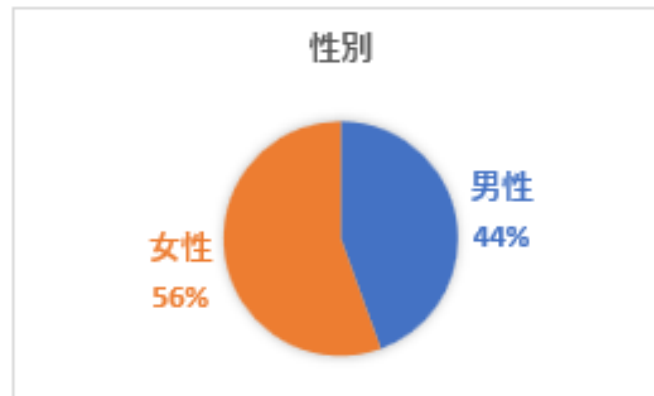
# 対象者の状況①

(訪問受理ケースn=45)

【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

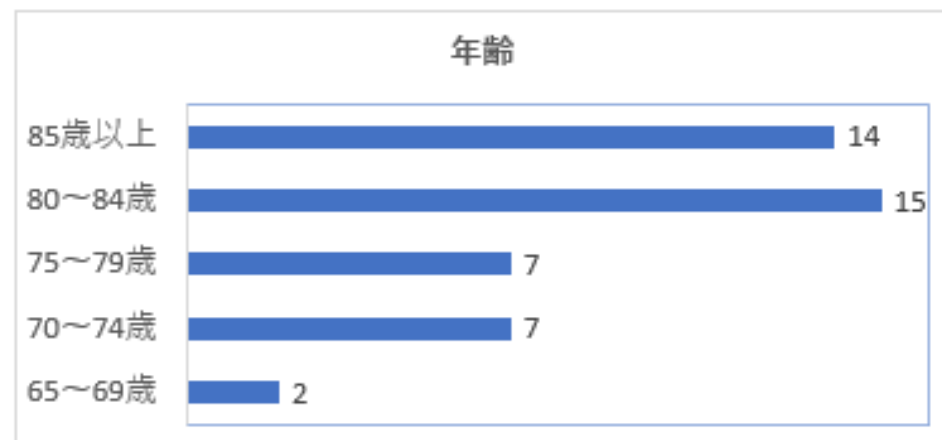
## 性別

性別	人
男性	20
女性	25



## 年齢

年齢	人
65～69歳	2
70～74歳	7
75～79歳	7
80～84歳	15
85歳以上	14



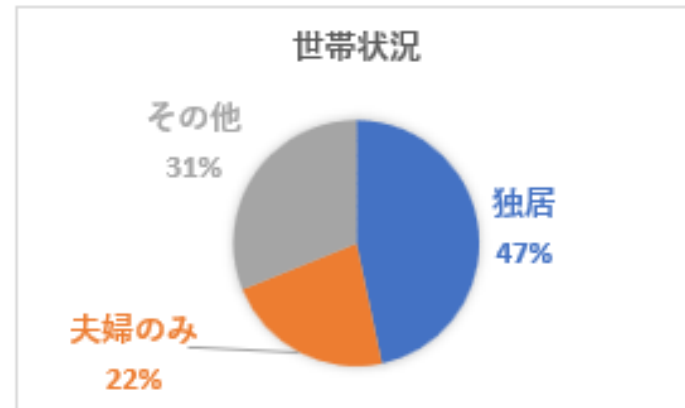
# 対象者の状況②

(訪問受理ケースn=45)

【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

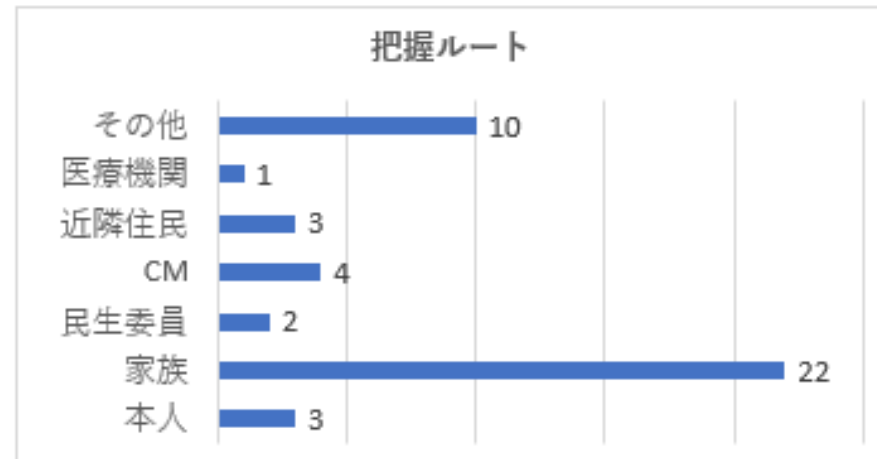
## 世帯状況

独居	21
夫婦のみ	10
その他	14



## 把握ルート

本人	3
家族	22
民生委員	2
CM	4
近隣住民	3
医療機関	1
その他	10

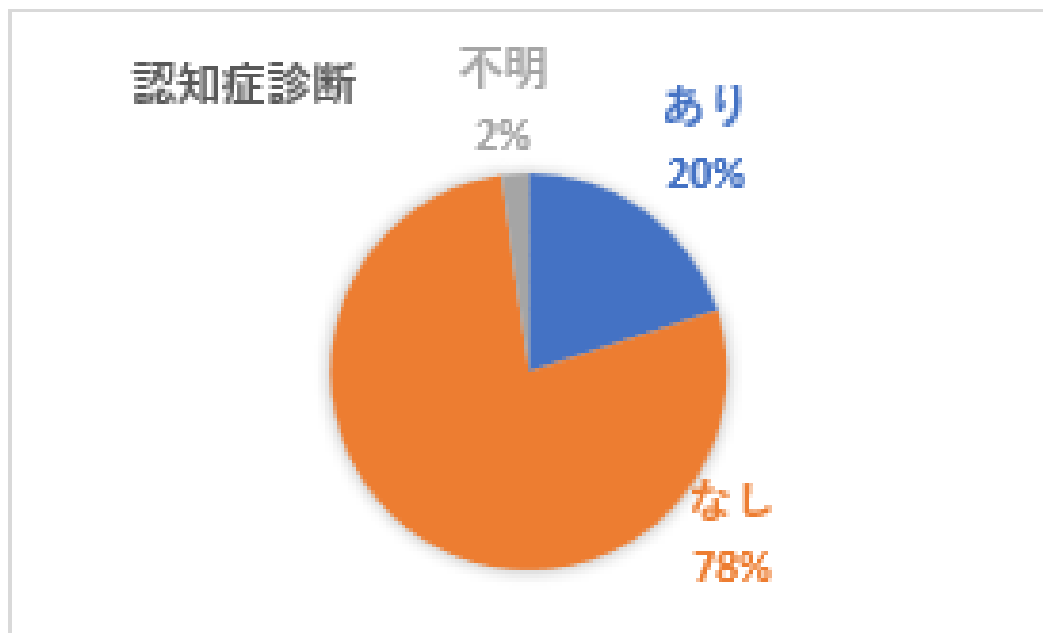


# 対象者の状況③

(訪問受理ケースn=45)

【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

認知症診断	(人)
あり	9
なし	35
不明	1



# チーム員訪問・会議実績①

(訪問受理ケースn=45)

【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

1ケースあたりの訪問回数	2.1回
職種	医師、看護師、作業療法士、 精神保健福祉士、介護福祉士、臨床心理士
1ケースあたりのチーム員会議回数	2.6回

介入時

要介護認定

要介護度	人	要介護3	人
非該当	0	要介護4	0
要支援1	2	要介護5	1
要支援2	0	申請中	2
要介護1	4	申請なし	33
要介護2	3		



終了時

要介護度	人	要介護3	人
非該当	0	要介護4	2
要支援1	5	要介護5	0
要支援2	1	申請中	4
要介護1	10	申請なし	18
要介護2	3		

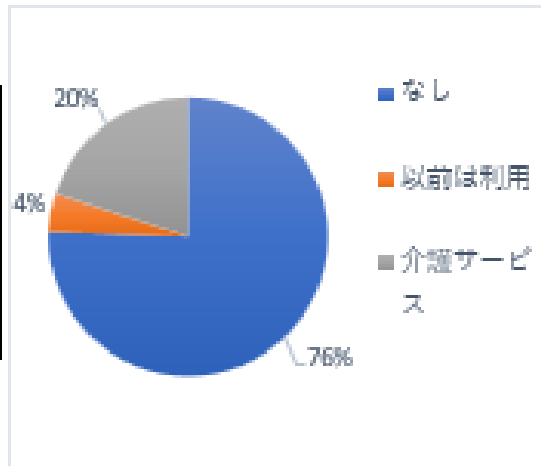
# チーム員訪問・会議実績②

(訪問受理ケースn=45)

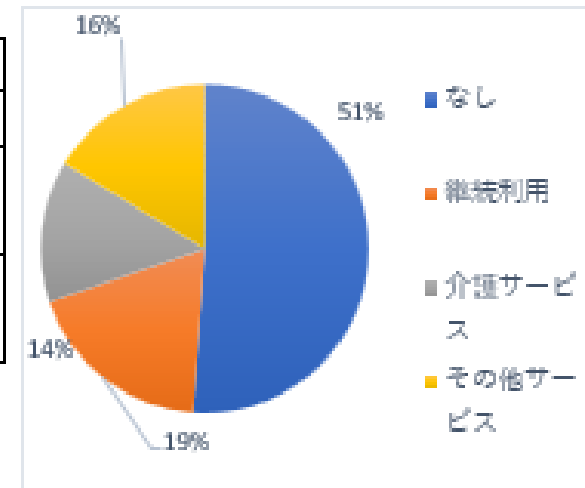
【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

## 介護サービス利用

なし	34
以前は利用	2
介護サービス	9



なし	22
継続利用	8
介護サービス	6
その他サービス	7



## 医療の引継ぎ状況

状況	人
通院あり (認知症)	4
通院あり (認知症以外)	20
以前は通院	11
通院なし	10



状況	人
主治医 (認知症)	5
専門医療機関	11
主治医 (認知症以外)	18
その他	1
引継ぎなし	8

# 事業実施における評価及び課題

【認知症初期集中支援チーム実績報告用プログラムより集計】

## 1 終了時総合評価(評価判定7段階)

とても改善2人、改善14人、やや改善19人、不変4人、やや悪化0人、悪化0人、とても悪化0人

(※欠損値5)

## 2 事業の評価

- 本人主体での地域資源選定と意思決定を地域関係機関とともに支援
- 本人のみではなく家族全体を視野に入れた支援、地域関係機関との連携
- 医療的視点を含めた多職種による訪問アセスメントと対応の協議
- 関係機関とともに普及啓発活動を協働

## 3 事業の課題

- 様々な把握ルートから包括へチーム活用の相談が届くよう、チームに関する普及啓発を継続する。
- 地域ケア会議や訪問事業、普及啓発活動をとおり、チームも含め引き続き地域資源全体の対応力向上に努め活動に寄与する。
- かかりつけ医、認知症疾患医療センター、地域関係機関との連携